

鳥の博物館の利用に関するアンケート結果
報告

令和6年1月
我孫子市鳥の博物館

1. 調査の目的

我孫子市鳥の博物館は、開館33年が経過しています。令和5年度から開館以来一度もリニューアルをしていない常設展示のリニューアルの検討を開始したことから、広く博物館の利用状況や新たな展示へのご意見を伺い、今後の博物館の運営の参考とするために実施しました。

2. 調査の概要

1) 調査方法：電子アンケート、紙アンケートの2方法で実施。

QRコードを載せたポスターを市内の公共施設に掲示し、HPでも周知した。紙アンケートは鳥の博物館でのみ実施した。

2) 実施期間：令和5年9月15日（金）～10月15日（日）

3) 回収結果：電子アンケート 270票

紙アンケート 130票

回答総数 400票

4) その他・設問の全有効回答数はグラフの中にnとして記載した。

・集計結果の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入している。

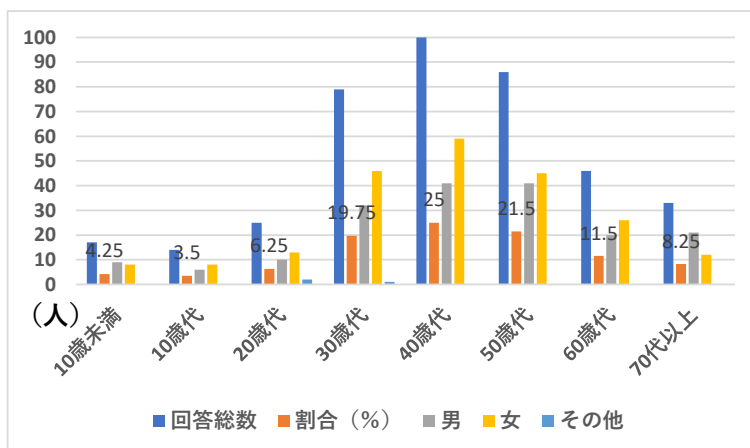
3. 調査結果

(1) 回答者の属性

回答者は年代別に見ると40歳代を中心に30～50代がボリュームゾーンとなっています。特に紙アンケートでは50歳代で男性の回答が多くなっています。

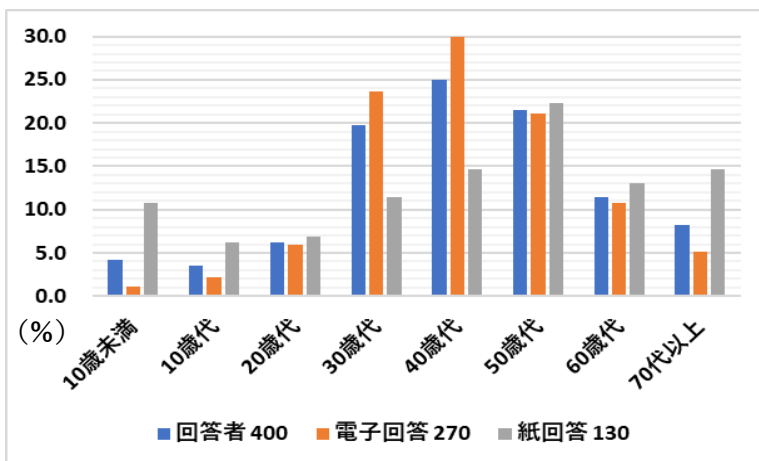
(性別)

男	180	45.0%
女	217	54.3%
その他	3	0.8%
合計	400	100.0%



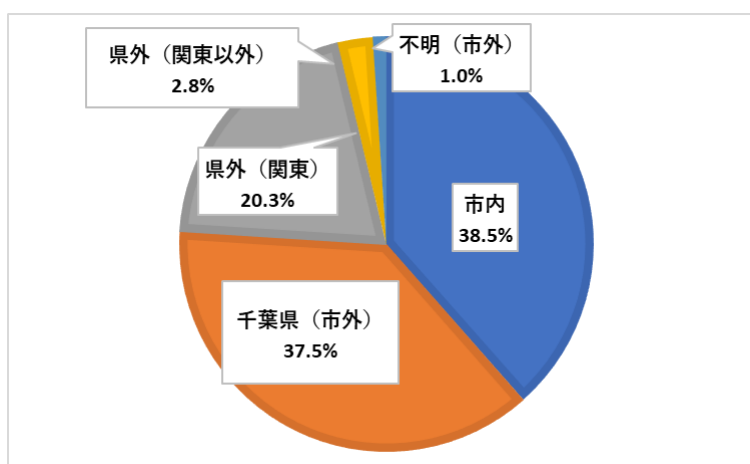
(年齢)

10歳未満	17	4.3%
10歳代	14	3.5%
20歳代	25	6.3%
30歳代	79	19.8%
40歳代	100	25.0%
50歳代	86	21.5%
60歳代	46	11.5%
70代以上	33	8.3%
合計	400	100.0%



(居住地)

市内	154	38.5%
千葉県 (市外)	150	37.5%
県外 (関東)	81	20.3%
県外 (関東以外)	11	2.8%
不明 (市外)	4	1.0%
合計	400	100.1%

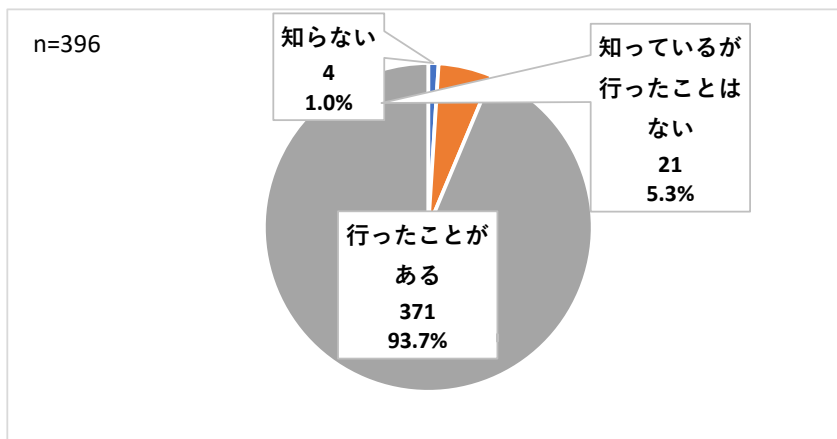


6割以上が市外居住者で、関東近郊からの来訪者が97.3%を占めています。

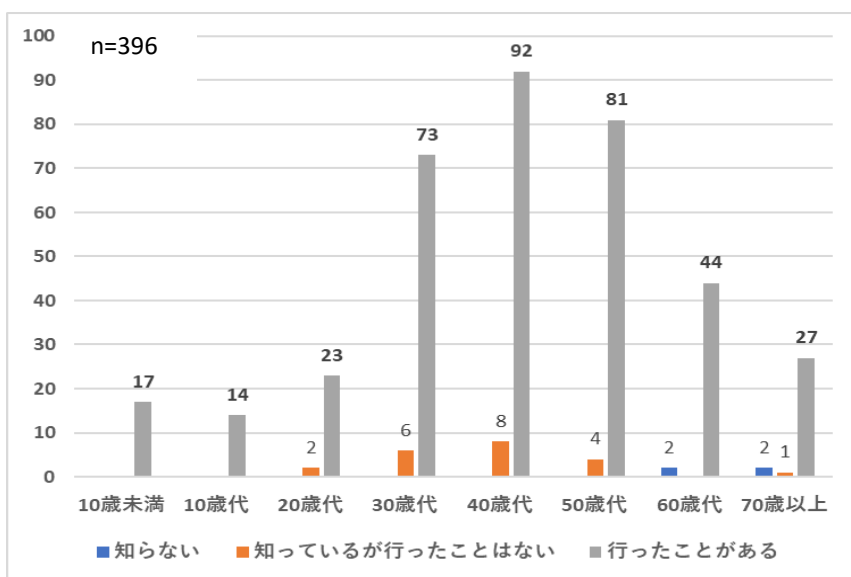
(1) 鳥の博物館について

鳥の博物館を知っている人は、回答者全体の99%を占めました。
 これまでに行ったことがある人は94%でした。

問1 鳥の博物館を知っていますか。行ったことはありますか。



「知らない」と回答した4人はいずれも市外在住で60歳以上でした。3人が男性でした。「知っているが行ったことはない」は21人でそのうち市外在住者は20～50歳代の12人でした。

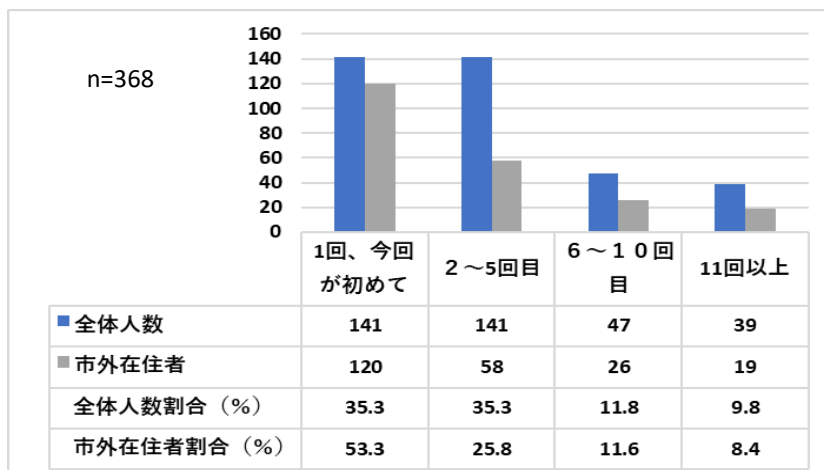


i) Q4で鳥の博物館を知っているが行ったことがない (全体の5.3%)

「知っているが行ったことはない」の回答者21人のうち、[行ってみたいと思ったことがある]は17人(81%)で、その7割が市外在住でした。行ったことがない理由(複数回答可)は「きっかけがない」(10人)が最も多く、「交通の便が悪い」(5人)、「遠い」(5人)、「忙しい」(4人)と続きました。9人は無回答でした。一方、「行ってみたいと思ったことがない」とした4人(19%)は市内在住で、うち3人はその理由を「興味がない」としています。

①鳥の博物館に行ったことがある人への質問

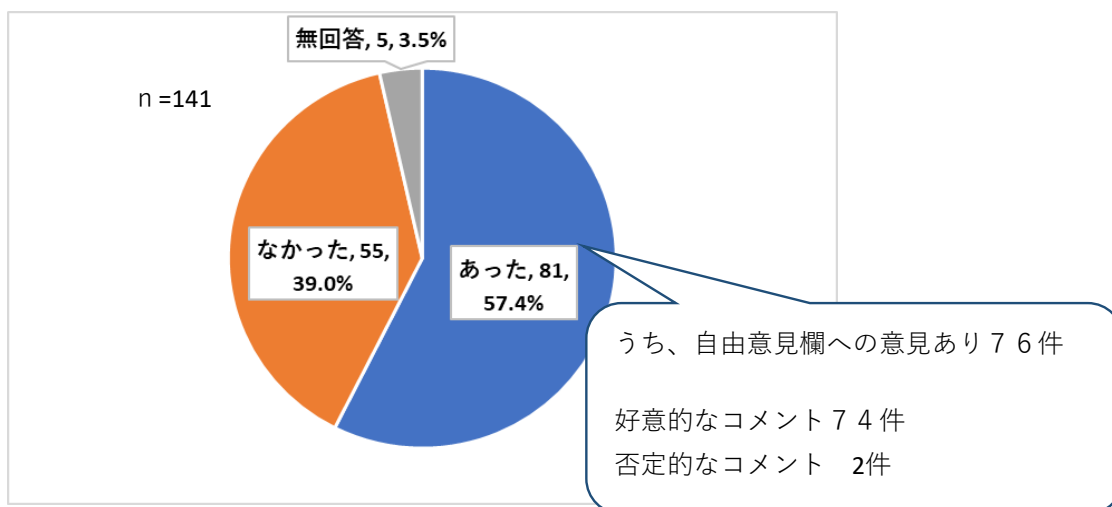
Q8 これまでに何回くらい鳥の博物館に来たことがありますか。



回答者全体で見ると来館数1回目と2～5回目はそれぞれ35.3%と同じ割合ですが、市外在住者の割合は来館数1回目が53.3%と最も高くなっています。来館が「1回、今回が初めて」の141人のうち、25人が「6年以上来ていない」と回答しています。

②博物館に1回だけ行ったことのある人への質問

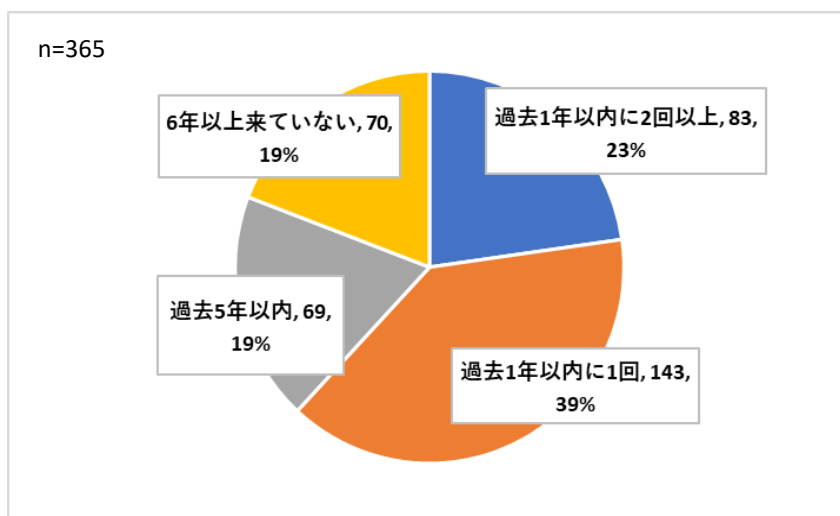
Q9 (来館が「1回、今回が初めて」の人) 来館して鳥の博物館の印象に変化はありましたか。



「印象に変化があった」と回答した人の自由意見欄には「意外に楽しめた」「充実していた」など好意的なコメントがほとんど(93.8%)でした。しかし、「展示が充実していた」「意外と楽しめた」というコメントであっても、Q11で「6年以上前から来ていない」人で「1回で十分」とした人が5人いました。

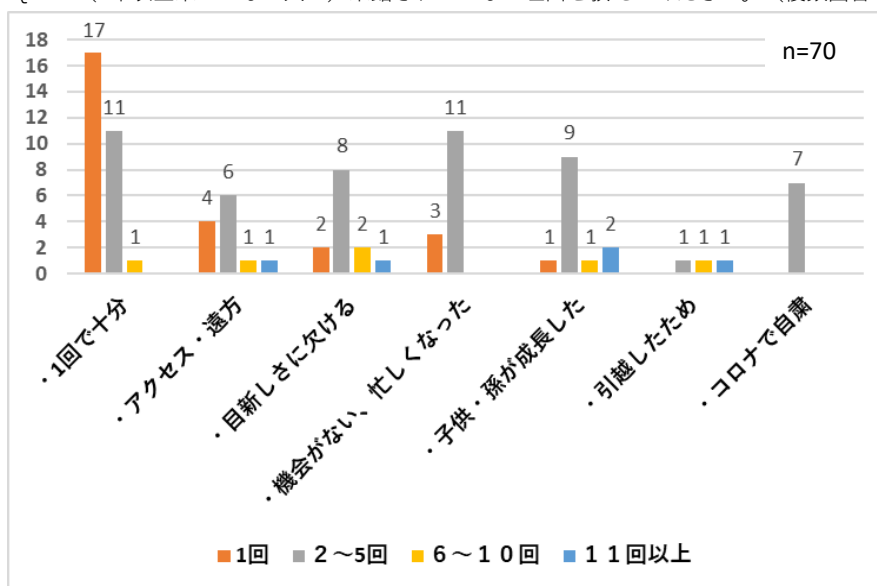
③博物館への来館頻度について

Q11 今日を含ここ数年の来館状況を教えてください。



回答者のうち、過去1年以内に来館した人は、3人に2人の割合（61.8%）となっています。1年以内に2回以上来館した人も約5人に1人の割合となっています。一方で「6年以上来ていない」も約5人に1人の割合（19.2%）でいました。

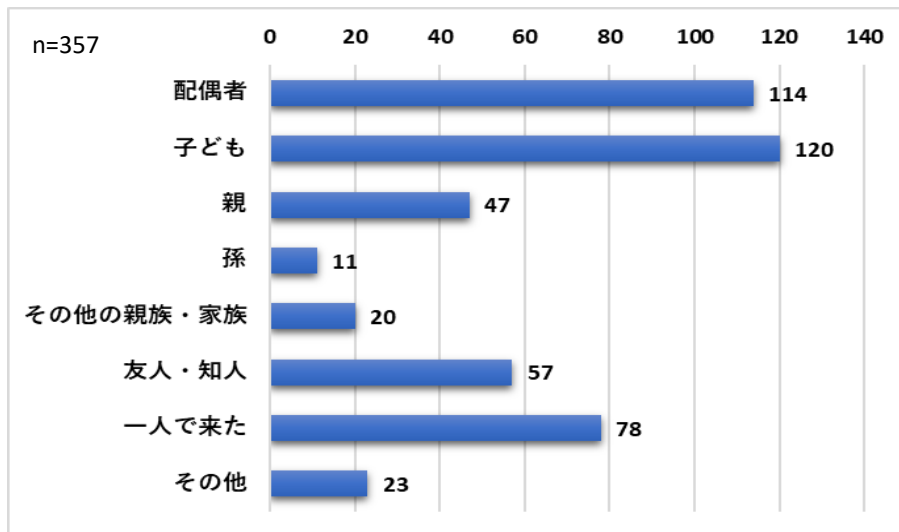
Q12 （6年以上来ていない人へ）来館されていない理由を教えてください。（複数回答可）



「その他」のうち、理由が明らかなものを選択肢に入れ込んで来館回数別に表にしました。来館しない理由は、来館回数1回の人では「1回で十分」とした人が多く、2~5回では、「目新しさに欠ける」、「子ども・孫が成長した」「忙しくなった」「引越したため」などの生活環境の変化を挙げる人が目立ちました。

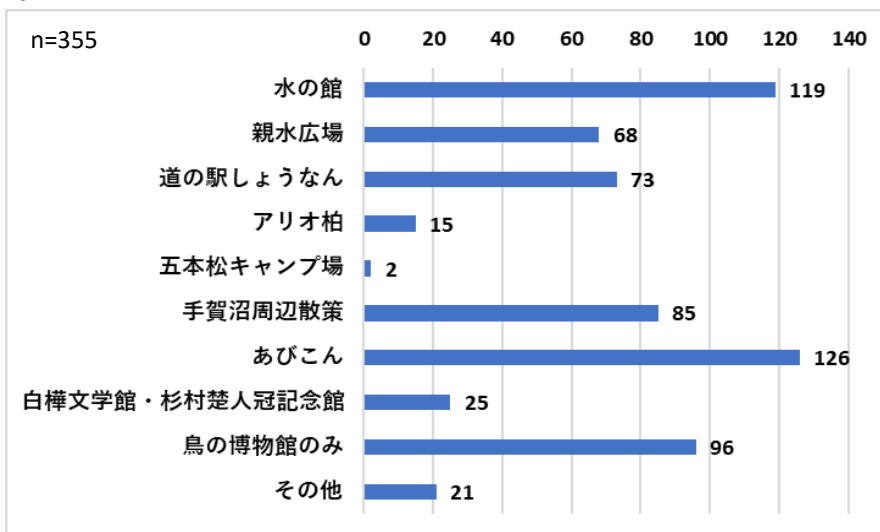
④来館時の状況

Q13 来館時は誰と一緒に来ましたか。(複数回答可)



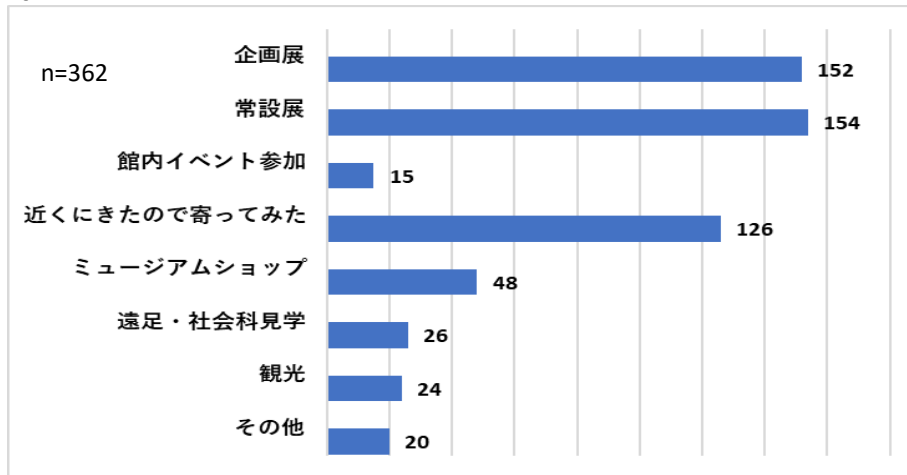
回答者の62.5% (223件) が家族・親族と来館しています。「一人で来た」の回答も21.8%と5人に1人の割合となっています。

Q14 訪れた(訪れるつもり)場所を教えてください。(複数回答可)



博物館に来た人の3人に2人(61.5%)が手賀沼親水広場周辺の施設等に立ち寄っています。特に「あびこん」(35.5%)、「水の館」(33.5%)が多く、次いで「鳥の博物館のみ」(27.0%)、「手賀沼周辺散策」(23.9%)と続きます。「道の駅しょうなん」も20.6%おり、「あびこん」、「道の駅しょうなん」と回答した人は200件に上ります。2人に1人は買い物や飲食ができるこれらのどちらか、あるいは両方を訪れているという結果になりました。

Q15 来館目的は何でしたか。(複数回答可)

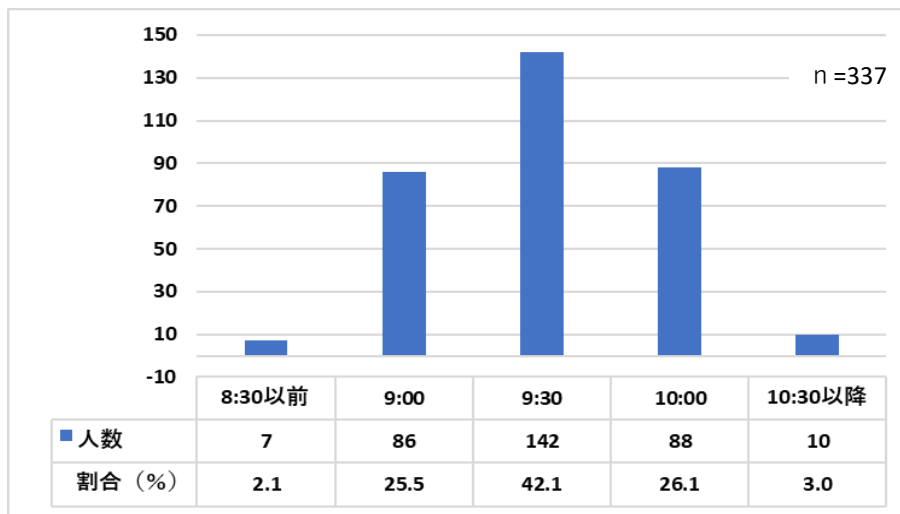


「常設展」、「企画展」、「近くにきたので寄ってみた」の上位3項目いずれかを挙げた人が306件と全体の84.5%に上りました。うち、企画展と常設展の両方を選んだ人は97件（26.8%）で、4人に1人の割合でした。

⑤開館時間について

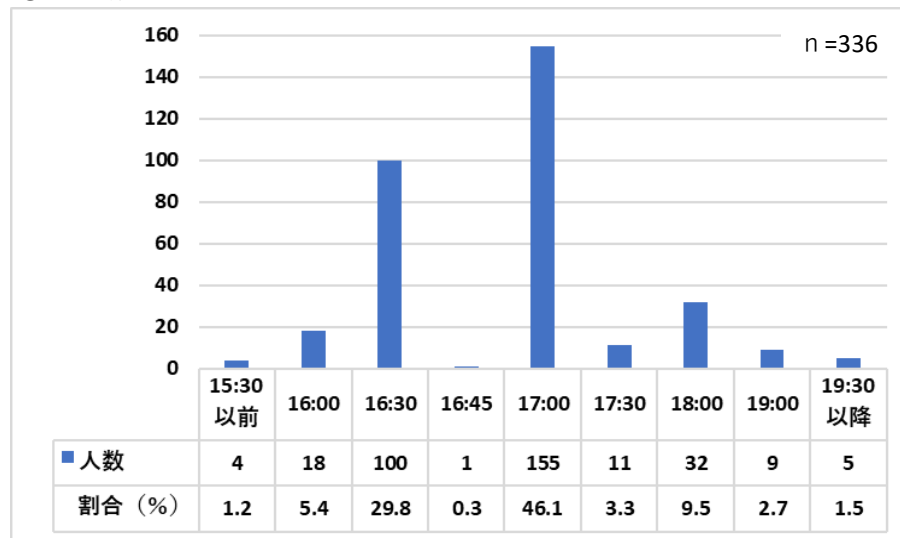
Q16 鳥の博物館は9:30～16:30に開館しています。利用しやすいと思う時間帯をそれぞれ記入してください。

① 開館時間



開館時間は現行の9:30が最も多いという結果でした。回答した人の94.3%が9:00～10:00を利用しやすい時間としています。夏と冬で開館時間を変えるという意見も1件ありました。

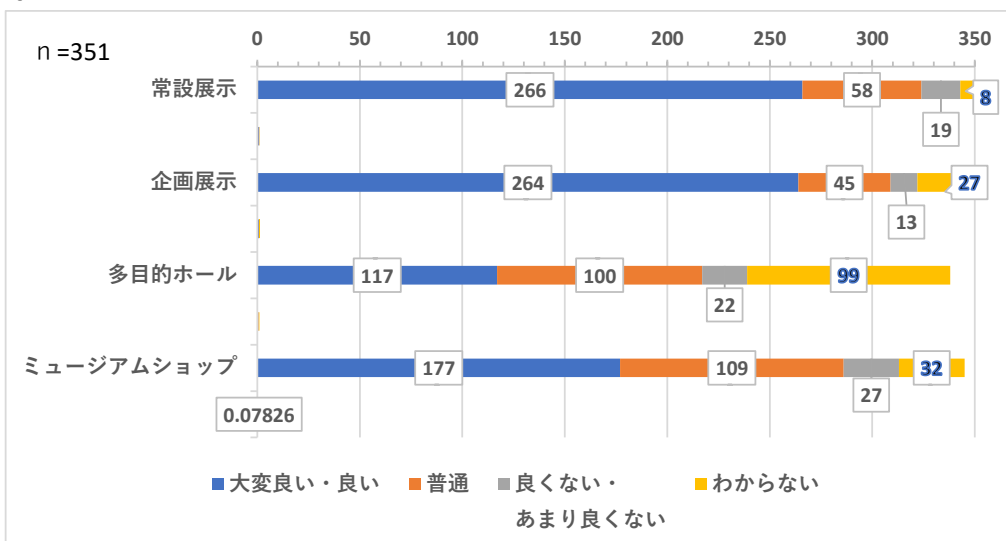
② 閉館時間



閉館時間は17:00が最も多い回答となりました。回答した人の81.6%が16:00～17:00を利用しやすい時間としています。閉館時間を18:00とする意見も9.5%ありました。

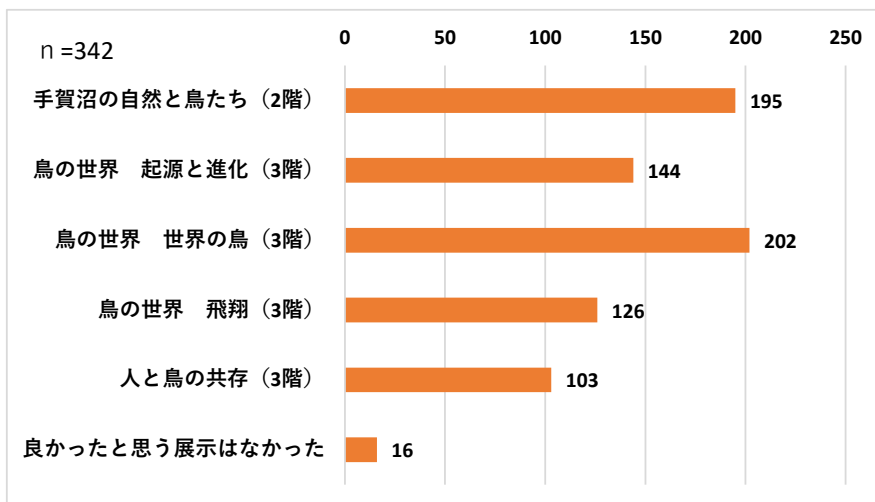
(3) 展示について

Q17 展示・施設の満足度について教えてください。



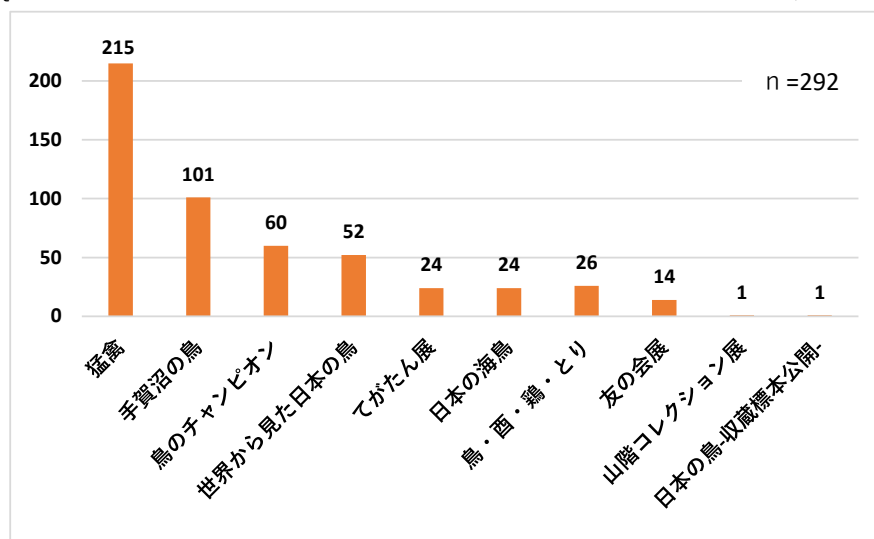
常設展示、企画展示については約8割の人が「大変良い、良い」と回答しています。常設展示、企画展示に比べて多目的ホール、ミュージアムショップでは「普通」が約3割と多くなっています。特に多目的ホールは「わからない」と回答した人が99人と突出して多くなっています。また、この回答者のうち約83%はそれ以外の場所を高評価しています。ミュージアムショップを「わからない」とした32人のうち、31人が多目的ホールもわからないと回答しています。「わからない」と回答した人はその場所を利用しなかったのではないかと推測されます。

Q18 良かったと感じた常設展示はどこですか（複数回答可）



手賀沼の自然と鳥たち、世界の鳥は約6割の人が「良かった」と回答しています。一方、「良かったと思う展示はなかった」とした16人のほとんどがQ17施設の満足度が「普通」あるいは「良くない・あまり良くない」「わからない」と回答しています。また、その多くがQ21博物館の展示に期待するものとして動きのあるもの、体験できるものを挙げています。

Q19 良かったと感じた企画展はありますか。あれば、すべて教えてください。（複数回答可）



良かったと感じた企画展は開催時期の近さと比例しており、開催した時期に近いほど回答が多くなっています。令和5年に開催した猛禽は回答者の73.6%が選んでいます。平成29年開催の鳥・酉・鶏・とりは8.9%の人が選んでおり、記憶に残った企画展であると考えられます。

Q20 これからの我孫子市鳥の博物館にどのような展示を期待しますか。（任意）

自由回答に記載された主な意見の類型

回答には、展示以外に関するものも含め、様々な視点から多くの意見が寄せられています。意見の類型を大きく「展示全般」、「展示の工夫」、「その他（展示以外）」の3つに分類し、特に現在の展示に係る意見は「展示全般」に包含されますが別途「現展示内容」としてキーワードごとに整理しました。

意見の多かったキーワードの意見は次の通りです。

i 展示全般について（計183）

キーワード	意見内容
・標本…	標本を増やしてほしい、多く展示してほしい、という意見が多く、骨格標本を希望する声もきかれました。
・身近な鳥…	身近に見られる鳥の特徴、生態、声などが知りたいという意見が多く聞かれました。
・体験・参加型…	体験・参加型に関する声は多くきかれました。単に見て回るだけでなく、動きのある展示・実際に体験できる仕掛け、スタンプラリーなどの意見がありました。
・デジタル…	体験・参加型とも重複しますが、映像・VR・タブレットや音声でのガイドなどのアイデアが出されました。
・ユニバーサルデザイン…	触れる展示、鳴き声がわかるような展示に対する要望が目立ちました。
・展示案…	絶滅した鳥や飼養鳥、ふくろうなどの企画展や焦点を絞った展示を期待する意見が目立ちました。
・その他（展示）…	子どもでもわかりやすい展示・解説を期待する意見が複数ありました。

ii 現展示内容に関連した意見（計43）

キーワード	意見内容
・手賀沼の鳥…	手賀沼周辺の鳥の展示、ジオラマの展示は残してほしいという声が多数ありました。
・起源と進化…	鳥の起源、恐竜への変化に関する展示を期待する意見が複数寄せられました。
・人と鳥との共存…	絶滅危惧種や都市鳥、気候変動の影響など人間生活がもたらす問題についての意見が見られました。

iii 展示の工夫（計20）

キーワード	意見内容
・展示の工夫…	薄暗い印象がある。レイアウトや空間デザインを考えてほしい。楽しさを求める意見がありました。見やすい高さ、角度にしてほしいという意見もありました。

iv その他（展示以外）（計81）

キーワード	意見内容
・施設設備…	明るくみえるよう床面を工夫してはどうか喫茶・休憩スペースを希望する意見がありました。
・クイズ…	クイズコーナーを充実してほしい。小学生には難しい。
・ソフト展開…	魅力のあるイベントや学芸員の館内解説を挙げる人が目立ちました。
・情報発信…	対外的な情報発信を積極的に行ってほしいという意見が目立ちました。
・スタッフ対応…	ボランティアや学芸員の丁寧な説明、積極的な声掛けを評価する声が多数ありました。
・連携…	周辺施設との連携による展示や集客の工夫のアイデアが寄せられました。